

大震災で被災、 宮古市の 老舗菓子店と 「焼きドーナツ」で コラボ

.....

ホームカミングデー、 白門祭で販売



公認ボランティア団体 はまぎくのつぼみ

コラボ商品チーム
みやコラボ

日高あきら(文4) 山周平(商4)
鹿又萌々果(文3) 津久井泉実(法3)
鈴木海渡(経済2) 吉田圭佑(法2)
内山晴太(法1) 森岡咲姫子(法1)
宮下理子(法1) 大内尚人(商1)



私たちは、中央大学ボランティアセンター公認団体「はまぎくのつぼみ」です。メンバーの一部が今年4月、東日本大震災の被災地、岩手県宮古市の田中菓子舗（田中和七社長）とコラボした商品を作るチーム「みやこラボ」を発足させました。9月20日にその商品が完成し、「焼きドーナツ」として9月29日のホームカミングデー（後樂園キャンパス）、11月1～4日の白門祭（多摩キャンパス）で販売します。1個200円で、利益の一部は宮古市役所に寄付しようと考えています。



焼きドーナツの
パッケージデザイン

みやこラボは、はまぎくのつぼみのメンバーのうち10人で活動しています。

今回、私たちがコラボしている点は、商品のパッケージです。みやこラボの鹿又萌々果（文3）がデザインを担当。優しい雰囲気とすることで、大学生がより手に取りやすいデザインを心がけました。

ハマギクの花と チュー王子のパッケージ

ハマギクは宮古市の花であり、私たちの団体名にもその名前があります。宮古と団体がコラボした商品

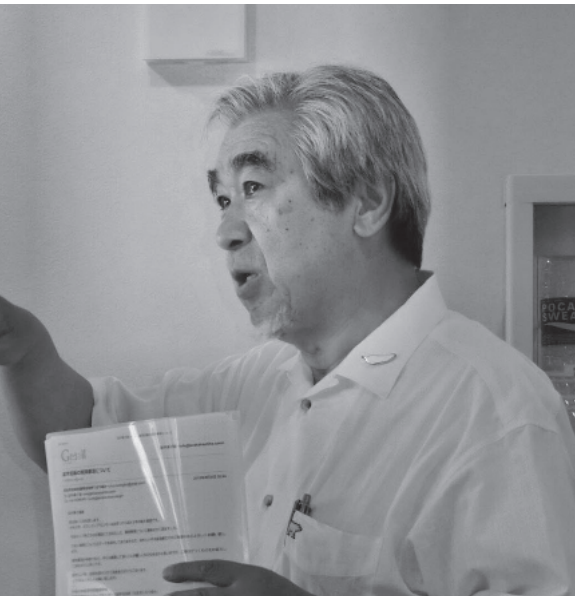
だとわかるように、という意味も込められています。パッケージのデザインには中大受験生応援キャラクター「チュー王子」もあしらわれています。

田中菓子舗は創業大正12（1923）年の老舗。商品の多くは、主に社長の田中さんのお母さまが開発したものだったそうです。しかし、東日本大震災の津波によってレシピはすべて流されてしまいました。今回の焼きドーナツは震災後に新たに開発された商品です。

はまぎくのつぼみは、被災地の宮古市で活動するボランティア団体です。主な活動として宮古市に拠点を

置く企業の商品を取り扱った物産展を、中央大学や日野市のイオンなど学内外で開催しています。開催の大きな目的は、私たちが長期休暇を利用して宮古市を訪問した際に感じた魅力、インタビューした企業の商品への思いや教訓を、多くの人々に伝え、震災の記憶を風化させないことです。

田中菓子舗は震災後、長く仮設店舗で営業していましたが、2017年8月に宮古市田老町に改めて店をオープンしました。はまぎくのつぼみが物産展を始めた2014年ごろからお付き合いがあり、「田老かりんとう」などの商品を扱っています。現地



社長の田中和七さん



田中菓子舗の
4種類の焼きドーナツ



店内で学生たちに話をする田中さん

訪問の際は毎年、震災当時の話や地元への思いを話していただいています。

コラボ商品を検討する中ではいくつかの候補がありましたが、味や大きさ、外観、価格などを総合的に考慮し、販売対象の学生ら若者が手に取りやすいようにということを重視しました。

菓子舗社長の田中さん「商品を通じて地元へ恩返し」

ドーナツはプレーン、イチゴ、ココア、わかめの4種類の味を取り扱います。添加物不使用で、丁寧に作られた焼きドーナツはどれもおいしいです。中でもわかめ味は磯の香りと塩味がドーナツの甘さとマッチして

いて、おすすめです。私たちの考案したデザインは、宮古市の印刷会社「花坂印刷」の協力によりパッケージとして完成。ドーナツの色合い、サイズ感(直径約6.5センチ)とも相まって、かわいい商品に仕上がりました。

社長の田中さんは「商品は母が主に開発したものでしたが、津波でレシピが全て流され、職人さんと一

緒に一から作り出さなくてはなりませんでした。震災前の母の味を再現したいと考えています。田中菓子舗を復活させるための勇気もらった地元で、商品を通じて恩返ししていきたいです」と私たちに話してくれ

ました。

ハマギクの花言葉は「逆境に立ち向かう」です。私たちの活動が宮古市の復興の一助となることを願っています。

結びとなりますが、ボランティア

活動でお世話になっている全ての方々と、今回この記事を書かせていただいたことに感謝を申し上げます。ボランティアについて少しでも興味がある方は、ぜひボランティアセンターを訪れてみてください。

「いい会話をした」と思われる被災地の物産展を



みやこラボ

みやこラボのメンバー

はまぎくのつぼみに所属する4年生2人、3年生2人、2年生2人の計6人で、今年4月に発足。現在は活動に興味を持った1年生4人が新たに加わり、10人で活動しています。毎週、昼休みにボランティアセンターでミーティングを行っています。

「宮古」「コラボ」「ラボラトリー(研究所)」を組み合わせたプロジェクト名、チーム名となっています。私たち

は「みやこラボ」の発足にあたり、「お客さまに『いい買い物をした』というより、『いい会話をした』と提供いただける物産展にする」「特に学生らの若者に宮古市を知ってもらうきっかけにする」「企業訪問で聞いた商品への思いを伝える」という目的を持ち、物産展を運営しています。「いい会話をした」の意味は、商品を手に取った人がスタッフに声

をかけることで、東日本大震災や宮古市について知ってほしいということです。

みやこラボはツイッター、インスタグラムで日々、コラボ商品や、はまぎくのつぼみの活動を紹介しています。アカウント名はみやこラボ(@miyakolabo)です。SNSユーザーの方はぜひフォローと拡散をよろしくお願いします。